

厳しい財政状況のなか
近隣支部との交流で活性化の萌し

社団法人 大学婦人協会
第46回通常総会議事録

「20002年度事業報告」 参照。	「20002年度事業報告」 参照。	「20002年度事業報告」 参照。	「20002年度事業報告」 参照。	「20002年度事業報告」 参照。	「20002年度事業報告」 参照。
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

「002年度事業報告」参照。

支部活動の活性化のための一案として、本部ブロック・支部という組織を構築し、支部間の連携を促進する提案があった。奈良・京都・大阪・神戸4支部共同の活動状況が紹介された。

5. 会計

A. 一般会計

会計 小坂 順子

2002年度収支決算並びに資産状況

「2002年度決算資料」

一収支計算書・貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録・支部別会

の処理ともに適正であり、正しく記録されていることを確認したので、ここに報告する。

3月25日、本部事務所において、静岡敏子監事とともに平成14年度国庫補助事業特別会計について監査を行った。その結果、会計の処理が適正であり、正しく記録されていることを確認したので、ここに報告する。

2年にわたった会計処理のコンピューター化が完了した。

前記1、2、4の「2002年度事業報告」及び5.の一般会計、特別会計

副会長

会計

長（右から3人目）：仙台国際センターで

員の承認を求めた。
満場一致で承認

*新役員選考委員の紹介
議長 今井 けい

2. 2003年度事業計画

案

A.総務
書記 縄田眞紀子
「2003年度事業計画」
参照。

B.委員会
各委員長
「2003年度事業計画」
参照。

情報委員会より当協会のICT活動を活発化するためのいくつかの計画の追加発表があった。

C.支部 各支部長
「2003年度事業計画」
参照。

中村ミチコ元会長から、「会員数の少ない支部の運営に関しては、一時雌伏し、その後盛り返した仙台・長崎支部の例を参考に、本部や周囲の支部の協力を望む。また国内NGO委員会が他団体と連携活動している諸会へ、JAUWの意見が提案されるようになって欲しい。特に教育委員会

者も正会員と認める（案）という文言を挿入し、短大卒業生にも正会員への道を開く旨、理事會案が提出された。

定款改正というJAFWWの根本に関わる重要な問題であることから、活発な討議がなされた。「高等教育で得た力を社会へ還元するために、JAFWWの存在意義そのものが問われるべき時期でもある。IFUWWにおいても、入会基準の見直しという大きな動きがある」と、青木IFUW会長から発言があった。

この議事は、再度、各委員会・各支部で検討することになり、継続審議となった。

5. 国際奨学金基金取り崩しについて（貸借対照表を参照）

会長 今井 けい

(1) 現在、固定資産の基本財産にある国際奨学金基金の6000万円を5200万円に減額し、差額800万円は、事業基金へ入れる。

大学への進学率が向上する中で、むしろ大学院への進学促進が、女性の高等教育を目指すJAUWの目的に添うと思われるからです。

国内奨学事業はすでに長い歴史がありますが、奨学生たちのその後の活動状況やJAUWとの関わりを明らかにできればと考えています。

守田科学研究奨励賞の副賞も、今年から1件50万円（年2件）となり、若

じめての合同準備会を開催しました。支部どうし、あるいは支部と委員会との間に類似テーマによる連携の可能性がないかを探って、もしあれば、その間で協力し合って、調査研究の幅と質の向上をはかりたいと思います。すでにいくつかその芽が始めています。

「新しい酒は新しい草袋に」の諺の通り、こうしたJAUW内で起きている新しい動きは新しい草袋の中でさらに裏打ちされています。

社団法人大学

46回通常総会 審議の議長を務める

議長は、2003年度事業計画についての承認を求めた。

承認

3. 2003年度予算案（会報99号参照）

財務委員長 大森たへ子

(1) 2003年度大学婦人協会予算書（案）

(2) 2003年4月1日より13日までの「みなし収

(3) 減額された5200万円を、その他の固定資産の中の特定預金へ移す。基金取り崩しに關しては、国際獎学金規程第12条2項に基づき、理事会の4/5以上の賛成を得ている。

A black and white portrait of a woman with short, dark, curly hair, wearing a patterned blouse. She is smiling slightly. The portrait is set within a circular frame.

新しい革袋に

会長就任2年目を迎えて

会長 今井 けい

国際奨学事業を軌道に戻すことです。幸いこの件は文部科学省や会計士のご協力も得て、国際奨学金基金の取り崩しに成功し、総会でも皆さんにご承認いただきました。今後、安心して海外から、優秀な女性研究者を招へいすることが可能になったわけです。

い女性科学者の研究発展に大いに貢献できることと思います。科学研究奨励賞は第5回を迎え、受賞者は10名となりました。そのほとんどが、すでに入会されているので、JAUWの発展にとっても喜ばしい結果を生み、今後も期待されることです。

いていることなどから、時代のすう勢に合致したモダンな名称にしたいと考えるからです。今後1年間に、各支部・各委員会です十分検討されることを願っています。

最後に、改めて仙台支部の方々のホスピタリティに心からお礼を申し上げ

監査報告
監事 根岸 愛子
4月3日、静岡敏子監
事とともに本部事務所に
おいて、本協会の一一般
計2002年4月1日か
ら2003年3月31日ま

・新役員選考委員の承認
(会報209号参照)
選考委員長 田中トモ子
当法人の役員選考委員
のうち、田中トモ子・鈴木
木行子委員は2002年
度末で任期満了になるた

予算案とみなし収支の承認を求めた。

(1)、(2)、(3)いずれも承認

4. 会員資格について(定款改正に關して)

副会長 坂上栄美子

定款第3章第6条(1)の

青木 怜子 F U W 会長挨拶
*今年度、アルバニア・ソロモン諸島2カ国を準加盟国として認めた。
Individual memberを含めると、100カ国以上の国が加盟している。会員の

国内奨学事業も、学部生に対するものは廃止して大学院生のみとし、授与額も倍増することにした。四年制

全国セミナーについては、総会の合間に短時間ではありましたが、セミナー参加予定支部と本部委員会との、は

るとともに、来年は京都で皆様に再びお目にかかれるのを楽しみにしています。

での収支決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について監査を行った。その結果、資産の管理・運用・会計

め、定款第11条2項に基
づき、新選考委員として、
駒木三枝子・斉藤智恵会
員の2名を推薦する。
議長は、新役員選考委

「短期大学を除く」を削除し、「4年制大学卒業」と同等の資格等を有する」と理事会が判断した場合
には、短期大学女性卒業

減少 会費の減少を起
て、IFUWの存在意義
はある。国連のIFUW
へ寄せる期待は大きい。
2004年8月開催の

社団法人大学婦人協会 第46回

会長
副会長
会計

第46回通常総会 審議の議長を務める今井会長（右から3人目）：仙台国際センターで

費状況」参照
B. 特別会計
会計 市川知恵子
国庫補助事業収支報告
「平成14年度国庫補助事業特別会計収支決算報告」参照。
監査報告
監事 根岸 愛子
4月3日、静岡敏子監事とともに本部事務所において、本協会の一般会計2002年4月1日から2003年3月31日までの収支決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について監査を行った。その結果、資産の管理・運用・会計

午後〇部》
審議
議長 今井 けい
新役員選考委員の承認
(会報209号参照)
選考委員長 田中トモ子
当法人の役員選考委員
のうち、田中トモ子・鈴木
木行子委員は2002年
度末で任期満了になるた
め、定款第15条2項に基
づき、新選考委員として、
駒木三枝子・斉藤智恵会
員の2名を推薦する。
議長は、新役員選考委

(3) 総会を年1回にするために、4月1日からの当該年総会までの「みなし収支」の処置について、来年度以降も今年度の方法を踏襲したい。

議長は、2003年度予算案とみなし収支の承認を求めた。

(1)、(2)、(3)いずれも承認

4. 会員資格について(定款改正に關して)

副会長 坂上栄美子
定款第3章第6条(1)の「短期大学を除く」を削除し、「4年制大学卒業」と同等の資格等を有する」と理事会が判断した場合
には、短期大学女性卒業

案通り承認された。
午後15時30分現在の
出席者数
賛成 144名
反対 135名
棄権 0名
有効委任状 9名
776通
青木怜子 I F U W 会長挨拶
*今年度、アルバニア・ソ
ロモン諸島2カ国を準加
盟国として認めた。
Individual memberを含
めると、100カ国以上の国
が加盟している。会員
の減少、会費の減少を
超えて、I F U W の存在
意義はある。国連の I
F U W へ寄せる期待は
大きい。
2004年8月開催の

IFUW総会における重要議題の一つは、規程の改正であり、その主旨は、会の目的の見直しである。高等教育を通して貢献できるのは何か、何をすべきなのか、もっとアビリティを高める。

*2004年8月開催のIFUW総会の参加費用は、750スイスフランである。多数の参加を期待する。

司会 小西 厚子
坂上栄美子
1. 2003年度国庫補助事業について
企画委員長 小西厚子
3月31日、文部科学省へ平成14年度文部科学省国庫補助事業実績報告書及び平成15年度文部科学省国庫補助事業計画書を提出した。テーマは、「女性と情報社会—ICTは女性の未来をいかに拓くか—」とし、10月11(土)、12日(日)、ヌエ

ックで開催する。2月、今年度企画委員会を発足させた。井口美登利情報委員長に企画副委員長、また窪田恵子女性の地位委員と遠藤理枝情報委員に企画委員に就任していただいた。

2. 2005年度以降の新事業について
会長 今井 けい
(1) 文部科学省の委託事業に応募することを検討。
(2) 予算を蓄積し、2年毎の開催を検討。

いづれも、さらに協議を重ねることになった。

3. 評議員会について
会長 今井 けい
仙台で開催された評議員会の席上、評議員会・支部長懇談会の開催要領につき以下のように決定した。

●評議員会「理事・監事・支部長(東京支部は副支部長)」2時間
決算の承認、総会にはかる重要事項の決議等。

●支部長懇談会(支部長)1時間30分 支部長同士の懇談、本部への要望など。

次期総会開催地について
会長 今井 けい
第47回通常総会では、2004年4月4日、京都で開催する。

この時程は、大学婦人協会第47回総会から実施される。

4. 若手会費育成金について
副会長 坂上栄美子
45歳まで、協会在籍年数1年以上の者。
年間100万円。2004年度は、IFUW総会出席費用の交通費補助。

研究費20万円程度。会報に掲載し応募者を募集する。

5. 財政状況の確認
財務委員長 大森たへ子
財政状況比較表を配布し、現在の厳しい財政状況につき、会員各位の理解を求めた。

「大学婦人協会」の名称変更について
会長 今井 けい
「婦人」という文字は辞書にもあるように、現在の社会状況に適さなくなっている。

名称改正の方向で1年間かけて検討したい。現在の協会にふさわしい名称を、各支部・各委員会に検討し提案していただきたい。

次期総会開催地について
会長 今井 けい
第47回通常総会では、2004年4月4日、京都で開催する。

第46回通常総会開催支部報告

—総会開催で支部の結束をかためる—

仙台支部長 飯岡 絹子

支部活での実績に非常に理解を動を本格示してくださり、助成金の開始をいただいたこと。それから日、これも、大学婦人協会の浅い仙実績が物を言ったことは、申すまでもなく、大変心強い思いで準備が進められ、第46回通常総会に幕をあげました。本部の理事をはじめ、前年度の神戸支部長、そして、総会前日の理事会、支部長懇談会には理事は出席し、特筆すべきは、財団法人男女共同参画財団がここの討議が始まりました。仙台支部でまとめた

レジュメを基本として、非常に活発な意見が飛び交いました。一番多かったのが、例年の懸案であった、会員資格について、次は名称変更の問題、そして会員の東京での研修についての意見、経費の問題、多分これは来年度の支部への引き継ぎになるものと思われる。

2日目は総会会場を国際センターに移し、熱心な討議がなされ、特に少人数の支部に対して、今年度努力するよう提案がありました。

総会終了後、バス4台に分乗して松島一の坊に向かい、海に面した場所での夕食会では、思いがけず「花火」のおまけまであり、喜んでいただきました。翌日は2方面にわかれたが、皆様にもお褒めいただきました。そして、元々、仙台市内方面に39名、それ以外に3名、仙台市内方面に65名、それぞれお楽しみいただきました。幸い2日間とも傘の必要もなくすみました。

今回のことで実にいろいろなことを勉強いたしました。藤崎前支部長が実行委員長として指揮をとり、それに支部会員が入れ替わり手伝い、皆様にお喜びいただけるようにという一心で支部の心が一つになったことは、後にも後にも語り継がれること、今後の社会の役に立つ協会でありたいと思っております。

懇親会にお出しいした食事は「地場食材を使う」ということにこだわりました。翌日は2方面にわかれたが、皆様にもお褒めいただきました。そして、元々、仙台市内方面に39名、それ以外に3名、仙台市内方面に65名、それぞれお楽しみいただきました。幸い2日間とも傘の必要もなくすみました。

今回のことで実にいろいろなことを勉強いたしました。藤崎前支部長が実行委員長として指揮をとり、それに支部会員が入れ替わり手伝い、皆様にお喜びいただけるようにという一心で支部の心が一つになったことは、後にも後にも語り継がれること、今後の社会の役に立つ協会でありたいと思っております。

お世話くださった仙台支部の皆さん(総会終了後)

乗せて松島一の坊に向かい、海に面した場所での夕食会では、思いがけず「花火」のおまけまであり、喜んでいただきました。翌日は2方面にわかれたが、皆様にもお褒めいただきました。そして、元々、仙台市内方面に39名、それ以外に3名、仙台市内方面に65名、それぞれお楽しみいただきました。幸い2日間とも傘の必要もなくすみました。

今回のことで実にいろいろなことを勉強いたしました。藤崎前支部長が実行委員長として指揮をとり、それに支部会員が入れ替わり手伝い、皆様にお喜びいただけるようにという一心で支部の心が一つになったことは、後にも後にも語り継がれること、今後の社会の役に立つ協会でありたいと思っております。

《2003年度全国セミナー》 女性と情報社会

—ICTは女性の未来をいかに拓くか—

企画委員会委員長 小西 厚子

本年度全国セミナーの企画委員会は2月から開催し、3月の会議で企画案をまとめ、各支部および委員会に研究発表申し込みの募集を開始した。

全国セミナー開催日は、10月11日(土)12日(日)の両日、場所は、独立行政法人国立女性教育会館(又エック)で行う。

全体テーマ「女性と情報社会」は昨年度に引き続き調査・研究のタイトルであるが、副題を「ICTは女性の未来をいかに拓くか」とすることに決定した。ICT(情報通信技術)にもとづくグローバル化した情報社会における女性の未来を明らかにすることが、今年の全国セミナーの課題である。

研究発表に参加応募した委員会および支部のテーマの概要は、以下のような内容である。

I ICTと女性の職域拡大

(1) 企業における女性とICT関連職業
(女性地位委員会)
(2) ICTと女性の職業
(奈良支部)
(3) ICTを使った女性起業家の実態
(静岡支部)
(4) ICTと情報リテラシー
(1) ICTと女性政策および参画
(女性と社会システムを考える会)
(2) ICTと子育て支援
(東京支部)
(3) 情報リテラシーのエンパワーメント
(茨城支部)
(4) 情報リテラシー格差をひきおこすも
(新潟支部)

IV その他

(1) ICT関連機器の普及と現状—障害者の生活との関連
(社会福祉委員会)
(2) これらの調査・研究を通して、ICT情報社会における女性の職域拡大や情報リテラシーの問題、男女平等なICT教育の実施方法、男女共同参画社会実現に向けての女性の地位向上・エンパワーメントの方策等についての具体的な提言をまとめて、JAUWの社会的貢献の一翼を担うセミナーとなるよう、各委員会・支部、そして会員各位のご協力をお願いいたします。

見学会(バスツアー)



両コースとも、前夜の宿泊地、松島一の坊から出発。ねむい目をこすりながら、露天風呂から眺めた日の出は、実にゴージャスでした。

巖美溪・平泉コース
毛越寺(藤原氏二代基衡が描いた極楽浄土を表現)を見学(写真右)

松島・仙台市内コース
瑞鳳殿=伊達政宗の霊廟。安土桃山様式の華麗な建物の前で(写真左=仙台支部)

社団法人 大学婦人協会支部長名簿

(2003年度)
2003年5月31日現在

支部名	氏名	出身校	〒	住所	電話	F A X
小樽	橋本 素子	津	005-0015	札幌市南区真駒内泉町3-10-1	011-582-9210	011-582-9210
札幌	荒田 絢子	東女	041-0806	函館市美原1-34-2	0138-41-0410	
函館	湊 則子	奈女	010-0903	秋田市保戸野八丁10-25	018-823-8425	
秋田	飯岡 絹子	実	984-0073	仙台市若林区荒町209	022-227-1346	022-266-0261
仙台	萩原ノリ子	福島	960-8157	福島市蓬萊町6-15-17	0245-48-7436	
福島	登坂美江子	新潟	950-2045	新潟市五十嵐東1-3-17	025-268-2853	025-268-2853
新潟	牧野恵美子	大阪学芸	310-0851	水戸市千波町2849-24	029-241-9053	029-241-9066
茨城	友枝 純子	東女	320-0052	宇都宮市中戸祭町850	028-621-1581	028-621-1581
栃木	植原 映子	成蹊・院	371-0045	前橋市緑が丘町26-5	027-231-9431	027-231-9431
群馬	掛塚 芳子	昭女	381-0082	長野市上駒沢1329-17	026-296-2843	026-296-2843
長野	三浦由紀子	茶	187-0032	小平市小川町1-733	042-341-0760	042-342-0586
東京	堀 美知子	早	243-0412	海老名市浜田町6-11	046-232-5660	046-232-5660
神奈川	大塚佐枝美	奈女	420-0853	静岡市追手町10-1210	054-253-6464	054-253-6464
静岡	福永 和子	同	489-0886	瀬戸市萩山台5-126	0561-83-6085	0561-83-6085
愛知	松井 恵美	津	502-0017	岐阜市長良雄総880-103	058-232-5010	058-232-5010
岐阜	升村登美子	京女	920-0967	金沢市菊川1-9-6	076-231-1374	076-261-4921
金沢	山田 由美	武庫女	918-8037	福井市下江守町9-26-25	0776-34-2901	0776-34-2901
福井	廣田 輝子	津	614-8363	八幡市男山吉井19-6	075-982-2922	
京都	丸山 悦子	奈女	631-0041	奈良市学園大和町3-271	0742-43-8471	
奈良	中川 春江	日女	545-0004	大阪市阿倍野区文の里4-17-23	06-6629-0097	06-6629-3346
大阪	八尾 佳子	日女	658-0063	神戸市東灘区住吉山手9-5-10	078-851-2485	078-851-2485
神戸	早津 聡子	共薬	700-0089	岡山市津島本町18-2	086-254-2849	086-254-2849
岡山	山手万知子	広島	731-3161	広島市安佐南区沼田町伴9145	082-848-0245	
広島	松岡 静子	日女	743-0001	光市室積8-3-12	0833-78-0131	0833-79-0577
山口						
愛媛						
高知	柏田 知子	九州	870-0851	大分市大石町1丁目4組	0975-44-2677	0975-44-2677
大分	武宮 公子	茶	860-0862	熊本市黒髪4-8-53	096-344-4118	096-344-4118
熊本	和栗 方子	茶	810-0053	福岡市中央区鳥飼1-6-45	092-761-3812	092-761-3812
福岡	平野 啓子	日女	850-0822	長崎市愛宕3-4-23	095-828-2545	095-828-2714
長崎	大久保美智子	日女	891-0103	鹿児島市皇徳寺台4-51-6	0992-65-6375	
鹿児島						

台支部で歓迎と不安と入り混じりながら、第46回通常総会には桜半ばの薄曇りに幕をあげました。本部の理事をはじめ、前年度の神戸支部長、そして、総会前日の理事会、支部長懇談会には理事は出席し、特筆すべきは、財団法人男女共同参画財団がここの討議が始まりました。仙台支部でまとめた



お世話くださった仙台支部の皆さん(総会終了後)

乗せて松島一の坊に向かい、海に面した場所での夕食会では、思いがけず「花火」のおまけまであり、喜んでいただきました。翌日は2方面にわかれたが、皆様にもお褒めいただきました。そして、元々、仙台市内方面に39名、それ以外に3名、仙台市内方面に65名、それぞれお楽しみいただきました。幸い2日間とも傘の必要もなくすみました。

今回のことで実にいろいろなことを勉強いたしました。藤崎前支部長が実行委員長として指揮をとり、それに支部会員が入れ替わり手伝い、皆様にお喜びいただけるようにという一心で支部の心が一つになったことは、後にも後にも語り継がれること、今後の社会の役に立つ協会でありたいと思っております。

社団法人 大学婦人協会
二〇〇二年度 事業 報告
二〇〇三年度 事業 計画
書記 海老原典子 縄田眞紀子

総務報告

組織
2003年3月1日現在
正会員 1619名
賛助会員 62名
職員 20名
監事 2名
役員選考委員 7名
評議員 29名
支部 32支部

事業
1. 2002年4月14日
第45回通常総会を神戸市
神戸商工会議所会館で開
催。
2. 定例理事会(月1回)
を11回開催。臨時理事
会を1回開催。議事内容
として、理事書記録と
して評議員(支部長)に
送付し、必要に応じて、
会報「JAUW」紙上で
会員に報告。
3. 4月22日 平成14年度
都民税均等割申請書・均
等割免除申請書を新宿都
税事務所に出す。
4. 11月28日免除申請許可。
5. 4月、2002年度若
手会費育成金による研究
会「女性と社会システム
を考える会」代表石塚浩
美に助成金を交付。
6. 5月18日 守田科学研
究奨励賞第4回贈呈式及
び祝賀パーティをアルカ
ディア市ヶ谷で開催、受
賞者2名。
7. 第47回通常総会を、2
004年4月4日(日)
京都で開催することを決
定。
8. 6月8日 理事会で2
002年度国際奨励学生とし
て、モンゴル人のペレン
レイ・アルテンツェツェツ
グ氏を決定。
9. 6月13日「理事・監事
異動届」を文部科学省に
提出。

9. 6月18日 文部科学省
の「公益法人実地検査」
を受ける。
10. 6月28日「平成13年度
事業報告書」を文部科学
省に提出。
11. 8月5日「平成14年度
民間社会教育活動振興費
補助金交付申請書」を財
団法人全日本社会教育連
合会に提出。
12. 8月5日「平成15年度
民間社会教育活動振興費
補助金事業計画書」を文
部科学省に提出。
13. 8月21日「韓国ソ
ウルで開催されたUWA
総会」に出席、48名。
14. 10月3日「公益法人概
況調査書」を文部科学省
に提出。
15. 10月5、6日 文部科
学省国庫補助事業200
2年度全国セミナーを独
立行政法人国立女性教育
会館で開催。
16. 11月25日 2002年
度全国セミナーの全体討
議をまとめ「決議事項」
として各委員会・支部へ
送付。
17. 11月 ベイオフ対策特
別委員会を中心にベィオ
フについて検討。
18. 11月 平成17年度以降
の全国セミナーに代わる
事業について、新アイデ
アを募集(会報「JAUW」
207号に掲載)。
19. 11月 2003年度若
手会費育成金による研究
会募集(会報「JAUW」
207号に掲載)。
20. 2003年1月11日
京王プラザホテルで「新
春のつどい」を開催。
21. 「新春のつどい」にお
いて、2003年度国内
奨励学生・社会福祉奨励学
生への奨学金贈呈式を行
う。一般奨励学生

委員会報告

企画委員会 小西厚子

事業報告(2002年度)
2002年度文部科学省
国庫補助事業の全国セミ
ナールを企画し、実施。詳細は、
全国セミナー報告書「JAUW
2002年度全国セミ
ナール」女性と情報社会一そ
の光と影-ICTと女性を
めぐる諸問題」にまとめ、
平成15年3月15日に発行し
た。この報告書は、関係各
省庁・関係各位(男女共同
参画推進本部長・内閣総理
大臣、男女共同参画担当大
臣、内閣官房長官、内閣府
男女共同参画局長、文部科
学省生涯学習政策局長、文
部科学省男女共同参画学習
課長)およびJAUW会員
に送付した。また、この報
告書を要する機関、セミ
ナールの調査研究に協力し
ていただいた関係機関や個人
にも送付した。以下にセミ
ナールの概要、企画の経緯を
報告する。
1. 全国セミナー・プログ
ラムの概要
テーマ:「女性と情報社
会」その光と影-ICT
と女性をめぐる諸問
題」
開催日:2002年10月
5日(土)、6日(日)
会場:独立行政法人 国
立女性教育会館(ヌエ
ック)
基調講演:小玉美恵子氏
(武蔵大学教授)
「女性とICT」その
光と影」
研究発表:企画・情報委
員会、女性の地位委員
会、教育委員会、国内
NGO委員会、国内
奨励学生・社会福祉奨
励学生・国際奨励学生を
贈呈する会
考える会
分科会:1. ICTと男
女共同参画社会 2.
ICTと女性の職業
生活 3. ICTによる生活
の変化

財務委員会

大森たへ子

事業報告(2002年度)
1. 委員会活動
●委員会開催 原則第1水
曜日午後 年10回
●2003年度予算案作成
つづいて国際会議場、図
書情報大学、ギガビ
ット見学(7月25日、
27名参加)
研修旅行
シェイクスピアアカント
リーパーク、誕生寺
(11月6日、57名参加)
●会員懇親会
新春のつどい「奨励学
生贈呈式」(1月11日、
131名参加)
●観劇会
○蘭語の会 307、037円
○会員寄贈品による(パ
ザール)254、270円
○雑貨販売(パザール)
556、841円
○新春のつどい
117、370円
○利息
本部へ(2003年3月
31日まで)入金
2、301、465円
●バザール開催 年4回(全
国総会、東京支部総会、
セミナー、新春のつど
い)
1. 2004年度予算案作
成。
2. 勉強会・講演会。
3. 会員懇親会(新春のつ
どい、観劇会、パズア
ール、スポーツ愛好会)
4. パザール開催(総会など
年4回)。
○アダチ財団
今井 けい(会長)
小西 厚子(企画委員長)
井口美登利 市川知恵子
海老根静江 海老原典子
大森たへ子 小坂 順子
島 美喜子 鈴木 光子

国内奨励委員会

海老根静江

事業報告(2002年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切。アメ
リカ、インド、インドネ
シア、ウガンダ、韓国、
スペイン、バンララデシ
ユ、モンゴルから各1
名、スリランカ2名、計
10名。
5月12日 選考委員会開
催。2002年度2003
年の奨励学生に、モンゴル
のペレンレイ・アルテン
ツェツェツグ氏を選出。
奨励金の額は70万円。ペ
レンレイ氏は、10月19日
来日、2003年4月中
旬まで、国立千葉大学環
境リサーチセンターで
センタートで、宇宙衛星
コンビューターを駆使
して、水と空気の汚染を
調査する予定。
9月23日 委員会を開催、
国際奨励金の現状につ
いて話し合い、募金の他
の引き継ぎ事項をもとに
2003年度以降の奨励
金制度について討議、
一般奨励金の対象を大
学院(来年度は1人20万
6名)とし、奨励学生に
対し1年以内に研究成果
の報告を求め、ホーム
ズ奨励金を来年度は休
み、2003年度中に改
革案を出すことにした。
12月 理事会で、前記の一
般奨励学生に関する変更、
ホームズ奨励金の今後の
検討が承認された。
1月 京王プラザホテルで
の「新春のつどい」で奨
励金贈呈式。奨励学生12名
出席。
筑波大学、東洋英和女学
院大学から指導教官、日
本女子大学、実践女子大
学から奨励金事務担当者
が出席される。京都、大
阪、神戸の各支部で授与
式を行う。
2月 会報208号(選考結果
および奨励学生の小論文掲
載)を奨励学生、応募大学
の学長宛に送付。
事業計画(2003年度)
1. 第56回一般奨励学生の募
集、選考。
2. 第13回安井医学奨励学
生の募集、選考。
3. 奨励学生の研究成果の確
認。
4. ホームズ奨励金につい
ての検討。
5. 2003年度国内奨励
金贈呈式の準備。
事業報告(2002年度)
4月30日 応募締切



ジュネーブのIFUW本部のオフィスで。
スタッフの皆さんとくつろぐ勝又会員（中央）

す。そ中シしたじん地域も利近ビル程スで10分
(談)うにあるマンの小なしか便にも国連この

いた手紙より

員から、IFUW本部
紙が届きました。

いている人です。ICT
関連の現地会社でコ
ンサルタントをしてい
ますので、今回IFU
Wに紹介しました。ジ
ュネーブの会員になる
かもしれません。
(本部オフィスは、ジ
ュネーブ中央駅からバ
スで10分

- 4月19日、今井けい会長が、京都支部総会に出席。午後、「イギリスのヒロインたち—女性運動の担い手を通して見る—」と題し、講演しました。
- 5月17日、大阪支部主催で、青木怜子IFUW会長の講演会が、開かれました。京都・神戸・奈良・福井・岡山支部にも呼びかけ盛会でした。

演題「世界を動かす女性たち—国際大学婦人連盟の活動を通じて」

- 2003年度国際奨学生は、韓国のキム・ジョンヒ（金点姫）さんに決まりました（医学・腫瘍学・分子神経学）。



ジュネーブのIFUW本部のオフィスで。
スタッフの皆さんとくつろぐ勝又会員（中央）

す。そ中シしたじん地域も利近ビル程スで10分
(談)うにあるマンの小なしか便にも国連この

いた手紙より

員から、IFUW本部
紙が届きました。

いている人です。ICT
関連の現地会社でコ
ンサルタントをしてい
ますので、今回IFU
Wに紹介しました。ジ
ュネーブの会員になる
かもしれません。
(本部オフィスは、ジ
ュネーブ中央駅からバ
スで10分

- 4月19日、今井けい会長が、京都支部総会に出席。午後、「イギリスのヒロインたち—女性運動の担い手を通して見る—」と題し、講演しました。
- 5月17日、大阪支部主催で、青木怜子IFUW会長の講演会が、開かれました。京都・神戸・奈良・福井・岡山支部にも呼びかけ盛会でした。

演題「世界を動かす女性たち—国際大学婦人連盟の活動を通じて」

- 2003年度国際奨学生は、韓国のキム・ジョンヒ（金点姫）さんに決まりました（医学・腫瘍学・分子神経学）。



衛星データの画像処理と 自然変動の研究

奈良女子大学共生科学研究センター助教授 村松加奈子

近年、非常に活発な人間活動が、自然なエネルギー循環、物質循環に、大きな影響を与えている。これらの問題に取り組むためには、現状を正しく把握すること、そのメカニズムの解明が不可欠である。2002年12月、日本の宇宙開発事業団が打ち上げたADEOS-II衛星に搭載されたGLIセンサーでは、可視から熱赤外の波長域に約30の観測波長帯を持ち、1kmの地上分解能で地球を観測する。

これら超多波長帯の衛星データから、土地被覆や植生量、植生の活性度などの情報を効率よく抽出する手法の開発を行った。具体的には、衛星で観測された多波長での反射率を、典型的な水、植生、土壌の反射率の形(パターン)で合成し、水、植生、土壌の3つの係数に情報を集約するという方法である。

また、衛星データから、地表面が1日に放出するエネルギーを推定するアルゴリズムの開発を行った。ADEOS-II衛星は、ある決まった時刻に地球からの放射エネルギーを観測する。一方、地表面温度は1日24時間変化する。ある時刻に観測された衛星データを用いて地表面近傍の熱エネルギーの使われ方の解析を行う場合、衛星データから、1日における地表面が放出するエネルギーを推定する必要があるからである。この手法は、モンゴルにおける実験領域に適用し、地上測定データと比較し、適用可能であることを示した。

以上の解析手法を用いて、自然な物質循環、エネルギー循環に人間活動が与える影響の解明をめざし、紀伊半島を1つのモデル地域として解析を行った。森林地帯として奈良県、三重県、和歌山県、人間活動の活発な地域として大阪府を定義し、各領域における、植被率、植生による二酸化炭素固定量を衛星データから、エネルギー使用量を統計データから調べ、比較検討を行った。大阪府と森林地帯の差は定量的に明らかとなった。その結果は、今年度より高知県に導入された森林環境税タイプの税金導入に関して、広く理解を得るための客観的なデータとしても生かしていきたい。



ペレンレイさん(左)と通訳する平野国際委員

発表は最初に、ウランバートルを流れる河川の水質汚染について、次に人工衛星によるリモートセンシング、その画像処理について分かりやすく説明された。「リモートセンシングは、離れた場所から対象に手を触れないで計測を行う技術全般を指すが、ここでは衛星にセンサーを搭載し、対象物から反射あるいは放出される電磁波を検知して地球表面の環境を観測する技術であって、その特徴は、広範囲の情報を

守田科学研究奨励賞受賞者論文概要



軟骨変性における 免疫学的因子の検索とその制御

聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター
(生体機能制御部門) 助手 増子佳世

関節リウマチ(rheumatoid arthritis: RA)や変形性関節症(osteoarthritis: OA)などの骨関節疾患は、高齢者を中心に、ヒトの運動機能ひいては社会生活に大きな影響をもたらす疾患である。RAは自己免疫を基盤とする炎症性関節疾患であり、一方OAは関節軟骨の退行性変化を主体とした疾患としてとらえられている。従来、RAでは関節滑膜を中心に活発な免疫応答が検出されてきたのに対し、OAでは炎症所見に乏しく、老化および力学的・解剖学的負荷が主たる原因と考えられてきた。現在までのところ、OAの治療は主として鎮痛を目的とした非ステロイド抗炎症剤の投与によっており、軟骨変性の抑制自体を標的とした治療は確立されていない。しかし、薬剤の長期服用による副作用の頻度が高いことなどから、より病因に近いかたちでの特異的治療の開発が望まれている。

我々はこれまでに、ヒト軟骨細胞を用いた研究により、1) 関節軟骨細胞から産生される蛋白の一部に、特徴的な関節炎を起こしうるものが存在し、これらの蛋白に対する免疫反応がOA患者で検出されること、2) OA患者のT細胞は健常者のT細胞と異なり、自己軟骨細胞に対して増殖反応を示し、またOAの軟骨細胞はT細胞に対し抗原提示能を有する可能性があること、3) 軟骨細胞はFas依存性アポトーシスに対して抵抗性である可能性、4) OA軟骨においては、サイトカインの一群であるケモカインおよびそれらに対応するケモカインレセプターが発現しており、これらを介した刺激によって軟骨細胞の代謝が変性の方向へ働いている可能性があること、などを示してきた。以上のことから、OAの病因病態の少なくとも一部に、免疫学的要因が関与していることが考えられる。また、アポトーシスやケモカインのOA病因への関与について今後さらに検討することにより、予防を含む治療戦略への新たな道を開きたい。

《国際奨励学生報告会》

リモートセンシングを用いて

環境汚染の研究をする

―ペレンレイさん(モンゴル)―

2002年度の国際奨励学生ペレンレイ・アルテンツェツェグさんの研究報告会が、3月10日、東京のアルカディア市ヶ谷で行われた。ペレンレイさんは、モンゴルのウランバートルにある大学で、主としてコンピューターを教える傍ら、モンゴルの環境問題、特に大気や河川の環境汚染の研究をされているが、昨年10月19日に来日、千葉大学環境リモートセンシング研究センターで、リモートセンシングを用いた海洋汚染に関する研究をされている。発表は最初に、ウランバートルを流れる河川の水質汚染について、次に人工衛星によるリモートセンシング、その画像処理について分かりやすく説明された。「リモートセンシングは、離れた場所から対象に手を触れないで計測を行う技術全般を指すが、ここでは衛星にセンサーを搭載し、対象物から反射あるいは放出される電磁波を検知して地球表面の環境を観測する技術であって、その特徴は、広範囲の情報を

2003年度委員会名簿

【財務委員会】

委員長 大森たへ子

井口美登利 出田 恭子
市川知恵子 江口 昌子
奥津 成子 加藤 文子
金子 京子 川田 ひろ
北村 和子 熊切 富子
小坂 順子 斉藤 智恵
坂井 英子 佐々木洋子
鈴木美代子 鈴木 行子
住友千代子 関口 瑞穂
高林 益江 太刀川洋子
中山 正子 中山 律子
縄田眞紀子 福士仁三代
藤谷 文子 待場田鶴子
松崎 和子 松村美枝子
八ッ橋宣子 山崎 邦子
山村 敬子

阿部 幸子 有澤 公

井上 章子 菊池 薫
楠 明子 五味 澄子
古山みゆき 酒薬美智子
佐々木澄子 時枝 裕子
利重 敦子 西尾 順子
根岸 愛子 平野 和子
廣田 貞子 山中 照子

【科学研究奨励委員会】

委員長 島 美喜子

伊藤 厚子 井上久仁子
岩村 道子 大野 渥
加藤 恭子 熊谷 晶子
今野美智子 時枝 裕子
平川 暁子 丸山 庸子
村岡 全子 室伏きみ子
八木 江里 山中 照子

【国内NGO委員会】

委員長 松比良節子

五十嵐康子 石塚 浩美
菊池壽美子 斉藤加代子
陣内 恵子 高田 素子
田中トモ子 田中 正子
旦 節子 長岡 茂子
中村ミチコ 野田紀代子
房野 桂 松鹿 光
丸山 庸子 望月 浪江
矢鋪 真澄 横橋 貴子
若井 綾子

【教育委員会】

委員長 橋本 慶子

有本 玲子 伊藤めぐみ
大東 郁子 大森たへ子
田中 正子 平田 宏子
福田 文子 藤村久美子
武藤亜希子 山澤 和子

【女性の地位委員会】

委員長 増淵 民子

海老原典子 金崎美美子
窪田 憲子 静岡 敏子
白井 典子 杉森 長子
鈴木 伸子 高田 素子
長谷 文子 松浦 千誉
村田 鈴子 森山 智可
若井 綾子

【社会福祉委員会】

委員長 鈴木 光子

伊藤智恵子 遠藤加奈子

木原 優子 駒木三枝子
玉井美枝子 長岡 茂子
中平 玲子 野崎 方子

望月 浪江

【広報委員会】

委員長 松本 佳子

遠藤 理枝 奥田 順子
尾上 夏子 黒川 花子
日置 恵子 藤田 典子
百束 礼子 山内 弘子
山崎 邦子 鷺崎 千春
委員長 秋月 薫
磯村 明子 菊地 晴子
後藤 晶子 庄司 ヨシ
西田 節子 橋本津栄子
福田 満代 堀口 裕子
溝淵ひろ子 三森 紀子
村松 育子 山下 靖子
吉村 光代

【情報委員会】

委員長 井口美登利

有本 玲子 岡部 佳世
遠藤 理枝 大谷 幸子
駒木三枝子 斉藤加代子
清水 敬子 関口 瑞穂
高田 素子 利重 敦子
野田紀代子 福田 満代
藤谷 文子 百束 礼子
八木 江里

【国際奨学委員会】

委員長 宮島 茂子

松本 悠子 三浦由紀子
福田 満代 牧 久恵
辻 英子 平石 妙子
金子 麩子 鈴木 光子
岡部 佳世 加藤 恭子
上野 郁子 牛山 通子
委員長 海老根静江

【国内奨学委員会】

委員長 海老根静江
上野 郁子 牛山 通子
岡部 佳世 加藤 恭子
金子 麩子 鈴木 光子
辻 英子 平石 妙子
福田 満代 牧 久恵
松本 悠子 三浦由紀子

TEL : 03-3358-2882 FAX : 03-3358-2889



監 事 根岸 愛子 静間 敏子



2002年度 社団法人 大学婦人協会収支決算報告書及び貸借対照表

収 支 計 算 書

(2002年4月1日から2003年3月31日まで)

貸借対照表

2003年3月31日現在

(単位:円)

(単位:円)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考	科 目	金 額		
I 収 入 の 部					II 支 出 の 部					I 資 産 の 部			
1 基本財産運用収入	284,000	35,440	248,560		1 事業費	12,465,000	11,432,728	1,032,272		1 流動財産			
基金口座利息					国庫補助事業金	3,500,000	3,152,000	348,000		現金	406,141		
事業基金利息	100,000	26,131	73,869		奨学金					普通預金	3,484,293		
ホームズ基金利息	4,000	124	3,876		国内奨学金	1,300,000	1,300,000	0	院-9名 学部-5名				
国際奨学金基金利息	180,000	9,185	170,815		社会福祉奨学金	400,000	340,000	60,000	院-1名 学部-3名				
2 入会金収入	100,000	62,000	38,000	累計 62口	国際奨学金	600,000	701,890	△101,890	Perenlei Altantsetseg氏	普通預金(国際奨学金)	1,243,970		
入会金	100,000	62,000	38,000		ホームズ奨学金	100,000	100,000	0	院-1名	定期預金	5,350,000		
3 会費収入	9,690,000	9,138,000	552,000	累計 1,508口	安井医学奨学金	320,000	320,000	0	院-1名	郵便振替	379,000		
正会員会費収入	9,600,000	9,048,000	552,000	累計 15口	守田科学研究奨励金	860,000	914,005	△54,005		流動資産合計		10,863,404	
賛助会員会費収入	90,000	90,000	0		若手会員育成金	1,000,000	200,735	799,265		2 固定資産			
4 補助金収入	1,700,000	1,512,000	188,000		分担金					基本財産			
国庫補助金収入	1,700,000	1,512,000	188,000		IFUW・UWA会費	1,500,000	1,701,025	△201,025	CHF12×1630名	事業基金	44,600,000		
5 寄付金収入	2,100,000	2,842,876	△742,876	東京支部より 150,000円	IFUW関係連絡費	100,000	100,000	0		ホームズ基金	2,000,000		
会員その他寄付	2,100,000	2,842,876	△742,876	国際奨学金指定寄付 200,411円	NGOその他	40,000	40,000	0		国際奨学金基金	60,000,000		
6 雑収入	1,504,000	1,423,500	80,500	財務委員会より (個人寄付を含む) 2,301,465円	助成金					基本財産合計	106,600,000		
受取利息				その他 191,000円	IFUW寄付金	100,000	106,500	△6,500	ビーナ・ロイPID基金	その他の固定資産			
運用財産利息	9,000	2,026	6,974		支部振興費	85,000	69,000	16,000		特定預金			
審査手数料	0	0	0		各委員会活動費	650,000	585,539	64,461		安井医学奨学金	7,423,544		
広告料収入	200,000	150,000	50,000		図書・資料費	10,000	2,800	7,200		守田科学研究奨励金	21,899,487		
総会参加費	690,000	687,000	3,000	¥3,000×229名	印刷製本費					若手会員育成金	6,964,800		
雑収入					名簿発行行	0	0	0		土地・建物	52,000,000		
分担金	405,000	403,725	1,275	東京支部より管理費分担	会報発行	1,500,000	1,478,400	21,600	会報4回	什器・備品	500,000		
名簿	0	0	0		通信運搬費	400,000	320,834	79,166		電話加入権	100,000		
私用電話他	200,000	180,749	19,251		2 管理費	5,755,200	5,737,298	17,902		その他の固定資産合計	88,887,831		
7 特定預金取崩収入	2,180,000	1,434,740	745,260		給料・手当他					固定資産合計		195,487,831	
安井医学奨学金	320,000	320,000	0		給料・夏・冬手当	1,920,000	1,926,810	△6,810		資産合計			206,351,235
守田科学研究奨励金	860,000	914,005	△54,005		法定福利生	300,000	270,423	29,577	社会保険・労働保険	II 負債の部			
若手会員育成金	1,000,000	200,735	799,265		会議費	1,600,000	1,712,440	△112,440		1 流動負債			
					総会費	30,000	13,620	16,380		流動負債合計		0	
					理事會費	0	0	0		2 固定負債			
					役員選考委員會費	0	0	0		固定負債合計		0	
					旅費交通費	80,000	81,840	△1,840		負債合計			0
					通信運搬費	250,000	238,106	11,894		III 正味財産の部			
					什器備品費	100,000	81,060	18,940		正味財産			206,351,235
					消耗品費	650,000	557,112	92,888		(うち基本金)			(106,600,000)
					印刷製本費	50,000	42,600	7,400		負債及び正味財産合計			206,351,235
					負担本	325,200	325,200	0					
					光熱水料	150,000	133,350	16,650					
					諸謝金	120,000	120,000	0	公認会計士謝礼				
					租税公課	130,000	126,700	3,300	固定資産税				
					雑費	50,000	108,037	△58,037					
					3 繰入金支出	0	0	0					
					事業基金繰入	0	0	0					
					4 予備費	100,000	0	100,000					
					予備費	100,000	0	100,000					
A 当期収入合計	17,558,000	16,448,556	1,109,444		D 当期支出合計	18,320,200	17,170,026	1,150,174					
B 前期繰越収支差額	10,000,000	11,584,874	△1,584,874		E 当期収支差額 (A-D)	△762,200	△121,470	△40,730					
C 収入合計 (A+B)	27,558,000	28,033,430	△475,430		F 次期繰越収支差額 (C-D)	9,237,800	10,863,404	△1,625,604					

○監査報告 監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録されており間違いのないことを証明致します。

平成15年4月3日

監事 根岸 愛子 静岡 敏子

2003年度 社団法人 大学婦人協会予算書

(2003年4月1日から2004年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考	科 目	予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考
I 収 入 の 部					II 支 出 の 部				
1 基本財産運用収入	60,500	284,000	△ 223,500		1 事業費	12,185,000	12,465,000	△ 280,000	
基金口座利息					国庫補助事業金	3,000,000	3,500,000	△ 500,000	
事業基金利息	30,000	100,000	△ 70,000		奨学金				
ホームズ基金利息	500	4,000	△ 3,500		国内奨学金	1,200,000	1,300,000	△ 100,000	¥200,000×6名
国際奨学金基金利息	30,000	180,000	△ 150,000		社会福祉奨学金	400,000	400,000	0	
2 入会金収入	100,000	100,000	0		贈呈式参加費	100,000		100,000	
入会金	100,000	100,000	0	¥1,000×100名	国際奨学金	600,000	600,000	0	¥600,000×1名
3 会費収入	9,690,000	9,690,000	0		ホームズ奨学金	0	100,000	△ 100,000	
正会員会費収入	9,600,000	9,600,000	0	¥6,000×1600口	安井医学奨学金	310,000	320,000	△ 10,000	¥300,000×1名
賛助会員会費収入	90,000	90,000	0	¥6,000×15名	守田科学研究奨励金	1,260,000	860,000	400,000	¥500,000×2名
4 補助金収入	1,500,000	1,700,000	△ 200,000		若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0	
国庫補助金収入	1,500,000	1,700,000	△ 200,000		分担金				
5 寄付金収入	1,600,000	2,100,000	△ 500,000		IFUW・UWA会費	1,500,000	1,500,000	0	1名につき12スイスフラン
会員その他寄付	1,600,000	2,100,000	△ 500,000	含 東京支部指定寄付10万	IFUW関係連絡費	100,000	100,000	0	
6 雑収入	1,449,000	1,504,000	△ 55,000		NGOその他	45,000	40,000	5,000	
受取利息					助成金				
運用財産利息	4,000	9,000	△ 5,000		IFUW寄付金	100,000	100,000	0	ビーナ・ロイPID基金
審査手数料	0	0	0		支部振興費	85,000	85,000	0	
広告料収入	200,000	200,000	0		各委員会活動費	580,000	650,000	△ 70,000	
総会参加費	690,000	690,000	0	¥3,000×230名	図書・資料費	5,000	10,000	△ 5,000	
雑収入					印刷製本費				
分担金	405,000	405,000	0		名簿発行	0	0	0	
名簿	0	0	0		会報発行	1,500,000	1,500,000	0	会報4回
私用電話他	150,000	200,000	△ 50,000		通信運搬費	400,000	400,000	0	
7 特定預金取崩収入	3,170,000	2,180,000	990,000		2 管理費	5,451,200	5,755,200	△ 304,000	
安井医学奨学金	310,000	320,000	△ 10,000		給料・手当他				
守田科学研究奨励金	1,260,000	860,000	400,000		給料・厚生	1,930,000	1,920,000	10,000	
若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0		福利生	310,000	300,000	10,000	社会保険・労働保険
国際奨学金	600,000		600,000		会議費				
ホームズ奨学金	0		0		総会費	1,600,000	1,600,000	0	
					理事會費	3,000	30,000	△ 27,000	
					役員選考委員會費	3,000	0	3,000	
					旅費交通費	80,000	80,000	0	
					通信運搬費	200,000	250,000	△ 50,000	
					什器備品費	100,000	100,000	0	
					消耗品費	400,000	650,000	△ 250,000	
					印刷製本費	50,000	50,000	0	
					負担本	325,200	325,200	0	
					光熱水料	150,000	150,000	0	
					諸謝金	120,000	120,000	0	
					租税公課	130,000	130,000	0	
					雑費	50,000	50,000	0	
					3 繰入金支出	1,600,000	0	1,600,000	
					事業基金繰入	0	0	0	
					退職給与積立金繰入	100,000		100,000	
					国際奨学金積立金繰入	1,200,000		1,200,000	
					ホームズ奨学金積立金繰入	300,000		300,000	
					4 予備費	100,000	100,000	0	
A 当期収入合計	17,569,500	17,558,000	11,500		D 当期支出合計	19,336,200	18,320,200	1,016,000	
B 前期繰越収支差額	10,000,000	10,000,000			E 当期収支差額 (A-D)	△ 1,766,700	△ 762,200		
C 収入合計 (A+B)	27,569,500	27,558,000			F 次期繰越収支差額 (C-D)	8,233,300	9,237,800		